

ぼくらの〈三角ベース〉物語

きつたか 榮一

これなら ケンカはいらんが! オウ! 皆 嬉しそうだ

ぼくらは 備中 後月郡西江原 ピカピカの5・6年

自転車にり乗り 口笛も吹ける 横乗り! 女乗り!

新学期になって 突然広まった 〈三角形の陣地〉を使った遊び

— 遠くまで投げる 正確に叩く 転んでも掴む すっ飛んで走る

皆 本人も知らない得意技があつて いい顔してる 僕はほぼ

狙い通りに投げる!

〈三角ベース〉は 同じ町内の 新ちゃんのお兄さんの置き土産

アメリカの〈ベースボール〉を 少人数で遊べる

〈三角形の戦争ごっこ〉にして 自分は《陸軍幼年学校》に進学した

新ちゃんの家 門には 《…嘉三郎先生旧宅》の道標がある

お祖父が地域に〈養蚕〉を広め 織物の市の基となった

(内緒だけど未来〈ジーンズのメッカ〉となるんだよ)

《ベース》は 敵が守っている〈砦〉(塁) 打者が〈ホーム(本陣)〉に立つと⇒

敵の球が飛んでくる⇒手に布を巻いて跳ね飛ばし〈一の砦(1塁)〉に走る

⇒敵が球を宙で受けたり/走者が行き着く前に球を拾って〈塁〉に届けると

⇒走者は(戦死)/走者が先に砦に着けば 砦は〈撃破〉//次の打者が

成功して 次々と塁を突破し⇒本陣に戻ってくれば《凱旋》(一点)

〈勝負け〉は 凱旋の数(得点)できまる

はじめは していることの意味が ピンと来なかったが 〈戦争ゴッコ〉と
考えたら 皆 俄然やる気が出た

太平洋戦争が始まり ゴムの樹のある南方の占領で 沸き立つ頃 学校に
ゴムボールが配られた ボール投げや女子のボール遊びに適し 僕らが棒で
叩くとすぐへ垂れる コロコロした手触りの空気を入れるヘソが内側にあり
何回か空気を注射するが 空元気な奴だった

〈三角ベース〉を知る前の僕は 他の小学校区を自転車で偵察し他国に
侵入する気分を味わった 一人の時も 自転車を運ねる時も 双方の台詞は
決まっていたー「お前のガッコはボログッコー つっぱり交てコケコーロー！」
上の句で地元がまず火花を散らし「お前のガッコもボログッコー ツッパリ
倒れてバーラバラ！」と下の句で侵入者が覚悟を示す 毎回 多少の殴り合い
は覚悟し 強く見せるため ノソ〜ッ身体を大きくし 塩のついてない手を相撲
取りのようにパンパン払ったり 指をポキポキ鳴らす者もいた 誰が決めたわ
けもなく 現実には常に土地の者が勝ち よそ者が退散することになっていた

ある時 自立たないよう一人で出かけた やはり 一人の子が目ざとく 僕を
見つけて「お前のガッコはボログッコー」と歌い始めた よく響く声だ「つ
っぱり交て…」と入ってくるタイミングで「お前のガッコは…」と ぼくはズラシを
入れて 彼と同じセリフを歌い始める

“うわー!カノンの合唱になったあ!” 「おい 君の声 ボッケーキレーだ!

あんなに優しいご一家のことが これを書くまで《失われた記憶》になっていたのだ あり得ない経験を許して下さった皆様に 今頃涙が溢れるなんてごめんなさい もう80年前のことになりました

本当にありがとうございました

(Nov.3 24)